

安倍政権は沖縄県民の意思を無視し、新米軍基地建設のため、今月14日にも名護市・辺野古の海へ土砂投入を強行しようとしています。

ストップ 辺野古への 土砂投入

無法を重ね海を破壊

政府は本来国民の権利救済を目的とする「行政不服審査法」を乱用し、沖縄県の「埋め立て承認撤回」の決定を無効化しました。さらに、埋め立て用の土砂を搬出する港が台風被害で使えないといふと、今度は沖縄県の規則や条例で定められた届け出が完了していない、民間会社の桟橋を使って作業を強行しました。土砂には有害な赤土が混入しており、県の赤土等流出防止条例にも違反します。

2.5兆円超のムダづかい

しかし、この建設には展望がありません。最初に土砂投入しようとしている場所は全体の約16分の1。今の進め方なら埋め立てだけで4年はかかります。さらに、埋め立て予定地にはマヨネーズ状の超軟弱地盤があり、地盤改良なしに工事は進められません。これには知事の許可が必要であり、県民と知事が反対する限り基地建設は不可能です。

完成の展望のない米軍基地建設に2兆5千億超も投入し、豊かな海を破壊する——「馬鹿げたムダづかいはやめて！」沖縄県民とともに、声を上げてください。

民意を完全に無視

沖縄県民は9月の知事選挙で、安倍政権丸抱えの候補に8万票の大差をつけ、新基地建設反対の玉城デニー知事を誕生させました。土砂投入は民主主義、地方自治破壊の暴挙です。



沖縄の民意は
新基地建設NO!

沖縄への新基地建設押しつけに
反対する署名にご協力ください

日本平和委員会

2018年12月発行
一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです
<http://j-peace.org/>
東京都港区芝1-4-9平和会館4階
TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277